

アフリカ、アジア等の母子保健改善に取り組む 保健省関係者ら 12 名が岩手県を訪問

「妊産婦の死亡率」や「新生児死亡率および乳幼児死亡率」は、開発途上国において依然として深刻な問題です。持続可能な開発目標（SDGs）の目標 3 では、母子保健の改善が挙げられており、JICA もこの分野に重点的に取り組んでいます。

2024 年 11 月 25 日から JICA 東京で実施される課題別研修「母子継続ケアと UHC」では、アジア・アフリカなど 9 カ国から 12 名の母子保健の改善に取り組む保健省関係者や医療従事者等が参加します。本研修は、日本の母子手帳の活用事例や、国・地方自治体の保健政策やサービスについて学び、自国でも活用できる活動を明らかにすることを目指しています。

本研修では、12 月 3 日から 6 日にかけて岩手県への視察研修を予定しています。今年度は、岩手県立大学や西和賀高校などを訪問し、昭和 30 年代に先進的な地域包括医療を実現したことで知られる旧沢内村（※3, 4）を題材にした地方分権化の歩みや、学校保健、思春期保健について共に学びます。また、大学生や高校生との意見交換の時間も設ける予定です。

※1 [ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）](#) | [JICA について - JICA](#)

※2 [health.pdf \(jica.go.jp\)](#)

※3 [JICA 東北 豪雪、貧困、多病から長寿の村へ。岩手県沢内村の経験に学ぶ UHC の取り組み『誰も取り残さない村づくりー命を未来につなぐ地域保健』](#) | [事業ごとの取り組み](#) | [事業・プロジェクト - JICA](#)

※4 [【保健医療】誰も取り残さない村づくり～命を未来につなぐ地域保健～（ダイジェスト ver.） \(youtube.com\)](#)

【取材可能なスケジュール】※全行程通訳が同行します。是非取材をご検討ください。

日付	時間	場所	プログラム
12 月 4 日 (水)	13:30-16:30	岩手県立大学	地方分権化と旧沢内村の事例、大学生とのグループ討議 ・【講義】日本の地方分権化のあゆみ ・【討議】地域のニーズに応じる自治体とは（大学生と研修員のグループワーク）
12 月 5 日 (木)	9:15-12:50	岩手県立 西和賀高校	高校における学校保健/思春期保健活動について ・【視察】学校保健プログラムと保健室 ・【討議】高校生とのセッション -思春期と SRHR（※5）について -高校生と研修員のグループワーク

※5: SRHR「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の略称：性と生殖に関する健康と権利

【研修概要】

研修コース名：課題別研修「母子継続ケアと UHC」

来日研修期間：2024 年 11 月 25 日(月)～2024 年 12 月 13 日(金)

実施機関：公益財団法人ジョイセフ

[国際協力 NGO ジョイセフ \(JOICFP\)](#)

参加国（人数）：アンゴラ（1）、ガーナ（1）、ガボン（2）、シエラレオネ（2）、ジョージア（2）、タジキスタン（1）、ネパール（1）、パキスタン（1）、ブルンジ（1）

【取材いただける場合のお願い】

・一般市民の撮影には事前にご本人（未成年者の場合は保護者）の了解を取っていただくようご配慮をお願いいたします。

【問い合わせ先】 ※取材をご検討の際には、ご希望の取材日前日までにご一報いただけますと幸いです。

【本件に関する取材申込・問合せ先】

JICA 東京センター 人間開発・計画調整課 小澤 真梨奈／中野 勉

TEL :03-3485-2217 (080-7144-6217)

e-mail :Ozawa.Marina@jica.go.jp

Nakano.Tsutomu@jica.go.jp

JICA 東北センター 小畑 永彦／市川 雅美（岩手デスク）

TEL :022-223-5151

e-mail :Obata.Eihiko2@jica.go.jp

jicadpd-desk-iwateken@jica.go.jp